

自然科学研究科化学専攻 修士課程

入試区分	評価方針
一般入試	大学又は相当する教育機関で学んだ化学に関する基礎学力と外国語の能力をしっかりと身につけ、本専攻で単位取得と研究活動を通して修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。
社会人入試	化学の分野に関連した科目についての専門的学力、研究・業務業績を有し、単位取得と研究活動を通して修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類と口頭試問によって評価します。
学内推薦	化学の成績に基づいて、単位取得と研究活動を通じた修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類によって評価します。
学内推薦 専修免許取得 支援プログラム	化学の高度な専門知識を備えた教員となるための資質を有しているかどうかを、出願書類と口頭試問によって評価します。
外国人 留学生入試	日本の大学に相当する教育機関で学んだ基礎学力をしっかりと身につけ、化学専攻で単位取得と研究活動を通して修士論文の作成へと発展していけるかどうかを、出願書類と筆記試験の成績及び口頭試問によって評価します。
AO入試	大学の専門教育を通じて化学分野の研究活動に並々な熱意と意欲を持ち、本専攻での研究・学修を熱望する人材に対して、従来の筆記試験では評価できない研究遂行能力と資質を出願書類と口頭試問により評価します。